



丹波の森

兵庫丹波の地域情報紙

No.41
2010.9



* CONTENTS *

- ◆ 特集 新しい地域づくりを考える…P2.3
- ◆ 丹波青少年本部からのお知らせ／森あそびのススメ…P4
- ◆ ささやまの森公園定例プログラム／木工クラフトの拠点 丹波年輪の里…P5
- ◆ 生活創造ニュース（たんば.COM）／くらしあんしん…P6
- ◆ 丹波の森情報…P7
- ◆ 2010 丹波の森フェスティバル…P8

人口減少時代の 新しい地域づくりを 丹波から



丹波の森公苑長
丹波の森研究所長
中瀬 勲

地域づくりを議論する中で、最近、気になることがあります。従来からの地域づくり手法が、本当に役立つのかということですが、今、私たちが持っている地域づくり手法の多くは、徐々に修正はされてきたものの、高度成長時代、いわゆる都市が成長する時代に、その多くの基礎が構築されてきたといえます。

人口減少社会、高齢化社会の地域づくりはどうか。これまでの高度成長時代には、農地や森林が、住宅や工場などの都市的な土地利用に転換されてきました。この方向を基調にしてまちづくり、地域づくりが

進んできたといえます。しかし、これからは、住宅地などの都市的な土地利用から、空地、緑地、農地や森林などの自然的土地利用へと転換することも考えられます。まちづくり、地域づくりの手法を見直す、あるいは新たに構築すべき時期にきています。

私たちが直面している地域づくりの課題として、①人口集中地域での、都市や産業の再生、②人口疎住地域での地域づくり、地域再生、いうならば、森林や田畑、集落、まちを包含した多自然居住地域の活性化があります。今こそ、人口減少、高齢化を契機にした新たな地域づくり手法を提案し、実践する時期にきていると思います。

今年の10月には、名古屋で生物多様性の国際会議COP10が開催されます。温暖化で代表される気候変動、生物多様性の確保などが、地域から地球規模で議論し、行動する時期になりつつあります。生物多様性の確保を通じた持続可能な地域づくり、そこから享受できる多様な生態系サービスの維持などは重要です。では、丹波ではどうなっているのでしょうか。

丹波では、豊かな自然を背景にして、過去20年余にわたって「丹波の森構想」のもとで、多様な生態系サービスを享受した地域づくりが住民主導で進められてきました。しかも、これらを兵庫県独自の緑条例などの仕組みが支えています。前述した②の人口疎住地域での先進的な試みであるといえます。さらに特筆すべきは、市民活動が地域づくりと共に、非常に活性化していることです。歴史、文化、芸術、特に祭りなどの伝統芸能の学習と継承、丹波地域全体を舞台にした住民主体のシューベルティアーデたんば、創作オペラおさん茂兵衛などが展開されてきています。地域づくりの進展と共に、自立した住民組織が成長し、多様な継続性のある催しが展開されています。

丹波では、人口減少社会の地域づくりの実践が既になされてきました。これらの丹波の地域づくりの蓄積を、さらに発展、展開する時期です。小規模集落、人口減少をバネに、多自然居住地域での新しい地域づくりのムーブメントを丹波から発信する時期であると考えます。



丹波の森にすむぶくろう爺さんは、丹波地域のことなら、何でも知ってるでしょ。このところ「まちづくり」や「地域づくり」、「集落の活性化」ってよくきくけど、どんなことなの？



たんちゃん、ようきいてくれて。丹波地域は、むかしは人が多く、農業もさかんで、元気だった。最近は、若い人が都会へ出るようになった。だから、子どもが少なくなったり、放置された田や荒れた山、空き民家も見られ、ちょっと元気がない。そのままほっとくこともできるけど、「何とか元気な地域にしたい」と、みんなががんばるのが「まちづくり」や「地域づくり」、「集落の活性化」じゃ。どれも同じ意味じゃな。



それって、丹波地域だけなの？



日本全国、まちもむらも同じじゃ。だから、どの地域も「まちづくり」(地域づくり)、集落活性化(「をがんばってる。丹波地域は、その中でも、まちづくりが盛んなところ」と言われてるのよ。



まちづくりって、最近始まったの？



いやいや、昔は「まちづくり」って言葉はなかったけど、「なんとかならんかな」と気づいた人たちが頑張ってきた。そのおかげで今の丹波地域がある。これからは、いま丹波地域に住んでいる者が子どもや孫のために、頑張らんと。



丹波市北奥「案山子祭り」



まちづくりって、どのように進めたらいいの？



まず、それぞれの集落の簡単な課題（例・美化・清掃・災害時の備えなど）をひとつずつ解決するんじゃない。世帯が少なくなつて、むずかしい集落は、となりの集落の力をかりてもよいの。



集落の課題を解決するって、

やさしいようでむずかしいんじゃないの？



住んでる人が地域に関心がないかつたり、仲がよくなかつたらむずかしいの。そのためにも、日ごろのコミュニケーションが大事じゃ。みんなが気軽に集まって話せる場があったらよいの。



それから、どうすればいいの？



地域で日ごろ見なれたもの（例・風景、祭り、食べ物、人のつながりなど）の中に、宝もの（資源）があるんじゃ。これらをみんなで見つけだし、みがいて、まちづくりにいかしたいの。そのためにも、みんなが地域を歩いて、宝ものをさがしたらどうじゃろう。そして、どんな地域にしたいか、どんなことができるか、みんなが話し合ったらどうかな？



なんか、楽しそうね。ところで、集落が集まった校区でも「自治振興会」「まちづくり協議会」のような名前が、いろいろ活動をしているわ。どつちが？



集落に共通する課題（例・お年寄りなどの移動手段の確保、山や田の管理など）は、校区で取り組んだら、よりよい解決ができるぞ。力のない集落をみんなで助けることもできる。そして、校区の宝ものをいかしたまちづくり（例・空き店舗を利用し

たカフェ、ホテルの飛びむら、まると博物館など）をみんなで進められたら、もっとすばらしいの。



なんか、いろいろなことできそう。



ただ、校区の活動は、それぞれ集落の活動がまざってこそじゃ。集落をほおっておいて、いきなり校区でがんばるのはむずかしいぞ。



まちづくりが身近に思えてきたわ。



まちづくりは、ふつうに生活していたら、ふつうに感じることを、ふつうにすること。「丹波地域で育つてよかった」「丹波地域っていいところね」といわれるようにしたいの。そのためにも、あせらず、楽しく、ゆつくりと・じま。



篠山市西町「昭和縁日」

プロフィール



たんちゃん

丹波地域に住む、バスケットボールとケーキづくりが好きな小学4年の女の子。社会科で丹波地域のことを勉強してから丹波が好きになり、もっと知りたいと思ってる。



ふくろう爺さん

丹波の森に長く棲み、丹波地域を見つけてきた長老のふくろう。子どものが減り、田や山の一部が荒れていることに心をいためつつ、地域でのさまざまな取り組みを遠くから眺め、応援している。

丹波地域は、まちづくり・地域づくりがさかんなところと言われてます。一定の成果が見られる地域、方向を見失つて悩んでいる地域、これから取り組もうとしている地域など、いろいろでしょう。

まちづくりは、むずかしいようで意外にやさしく、やさしいようで奥が深いものです。まちづくりのとなえ方もさまざまですが、一般的な考え方や進め方を、たんちゃんとおくろう爺さんの対話形式にまとめました。これらの活動に生かしていただければ幸いです。

まちづくりや集落活性化に関するご相談は、まずこちらへどうぞ

（財）兵庫丹波の森協会／丹波の森研究所

TEL&FAX：0795-73-0933

丹波青少年本部からのお知らせ

青少年交流サロン「くもいのち晴れ」 メンバー募集!!

あなたの個性、待っています。

地元の若者が月に1回程度集まって、イベントやボランティア活動を企画し、わいわいにぎやかに活動しています。

現在、メンバー大募集中!新しい企画也大募集中!多方面から多彩なメンバーが集まってくるので、友達の輪がひろがり、自分自身の新しい発見があるかも★



担当

丹波青少年本部 0795-72-5168
(青少年活動コーディネーター)

ひょうご子ども・若者応援団 「ひょうごの青少年のすこやかな成長を応援します!」

企業・団体から提供いただいた資金・物資(製品、商品、サンプル品など)・機会(工場見学・職業体験など)・人材(技術者、社員派遣など)などを、地域で青少年育成活動に取り組む団体・グループへとつなぎ、地域の青少年育成活動の活性化を目指す取り組みです。

資源のコーディネート希望される団体・企業を募集しています!



担当

丹波青少年本部 0795-72-5168
(ひょうご子ども・若者応援団普及活動促進員)

森あそびの ススメ

くり(丹波栗)

青森県で発掘された三内丸山遺跡で縄文中期約5500年前の縄文人が直径約1mの栗の巨木を使った大型掘立柱建築物をつくったことやその遺跡集落周辺に栗林(栽培していた)があり、栗を食用としていたことが明らかにされました。

縄文人は日本人の祖先、栗は日本人の衣食住の食・住文化の原点と言えます。

栗は日本栗(*Castanea crenata*)中国栗(*C. mollissima*)ヨーロッパ栗(*C. sativa*)アメリカ栗

(*C. dentata*)が世界の四大栗とされ、形・果肉・食味などそれぞれ特徴があります。日本栗は柴栗(Chestnut:英名)です。

栗と言えば丹波栗。持統天皇が奨励されたと言われる丹波の栗栖(栗林)から朝廷に献上された栗が大粒で美味であることから丹波栗が有名になりました。その後も多くの藩主から朝廷や幕府に丹波栗の名称で献上され、丹波には誇り高さ名称が今も残り使われています。

栗は、ナッツ系の種子で、他の種子と比べ脂質は少なく、ミネラル・ビタミンが豊富で良質な澱粉でヘルシー食品です。

日本の生産量は2.6万tで世界の約5%、国内では茨城、熊本、愛媛、岐阜、宮崎の上位5県が45%を占め、兵庫県は約500tで2%弱(2009年)。

栽培主要品種は早生種:丹沢、中生種:筑波、銀寄、利平、晩生種:石鎚などです。

美味しい栗の見分け方:果皮に光沢があってずっしりと重みがある実。

保存は、皮栗の場合、冷蔵処理で3カ月、冷凍処理で半年ぐらい。(風味はおちる)

秋の夜長、ゆったりとした気分で茹で栗・焼き栗の素朴な美味を味わってください。



兵庫県自然活用型野外CSR事業

ささやまの森公園 秋の里山まつい

とき 10月17日(日)
10時～15時(申込み不要)

内容 木エクラフト・餅つき
森のバザー・農産物販売 ほか

11月
・シイタケづくり ～原木伐採～
・黄葉の深山に登ろう
ほか



12月
・しめ縄作り
・ミニ門松作り
ほか



定例プログラム

1月
・冬の深山に登ろう
・雑木林を育てよう
ほか



2月
・黒豆味噌作り
・冬の自然を楽しもう
ほか



3月
・シイタケづくり ～植菌打ち～
・バードウォッチング
ほか



〒669-2512 兵庫県篠山市川原511-1
TEL079(557)0045/FAX079(557)0201
U R L : <http://www.sasayamanomori.jp/>
E-mail : csr@sasayamanomori.jp

木エクラフトの拠点 丹波年輪の里

木材講演会「^{もくいく}木育」で人間が、地球が蘇る!

10月30日(土) 13:30～15:30
講師:山下 晃功(島根大学教育学部教授) 参加無料

秋の木木市 丹波市内の製材所等から端材が大集合!

11月20日(土)9:30～16:00(予定)

クリスマスリース教室 自然の素材を使ったクリスマスリース作り

12月5日(日)13:00～(60分程度) 定員:30名 参加費:500円(材料費込み)

第23回 丹波の森
ウッドクラフト展(木のおもちゃ大賞展)

展示会 一般の部 平成22年 9月19日(日)～10月3日(日)
ジュニアの部 平成22年10月24日(日)～11月7日(日)
木の館ホールにて
9:00～17:00(最終日15:00まで)月曜休館

主催・丹波の森ウッドクラフト展実行委員会
http://www.hk.sun-ip.or.jp/wood/w_craft/

アートクラフトフェスティバルinたんば2010

全国から百数十名のクラフト作家が集まり、個性豊かな作品を出品します。雨天決行

10月2日(土)10:00～17:00、10月3日(日) 9:00～16:00

主催・アートクラフトフェスティバルinたんば事務局 URL <http://acft.jp/>

たんば はがき絵展 作品募集

「たんば」にちなんだ風物・自然・祭りなどを
題材にしたはがき絵の公募展

応募〆切 12月28日(火)必着 一人2点まで
応募料:作品1点につき100円(高校生以下無料)
詳しくは丹波年輪の里まで

【お問い合わせ先】

みんなの工作室 丹波年輪の里

〒669-3312 兵庫県丹波市柏原町田路102-3
TEL 0795-73-0725 FAX 0795-73-0727 E-mail mail@nenrin.org
開館時間:9:00～21:00(工作受付は16:00まで)
休館日:毎週月曜日(祝日の場合は翌平日)

12種類の楽しいクラフトメニューをはじめ、小さなアクセサリから木のおもちゃ、家具づくりまで、工具や材料をご用意してスタッフ一同皆さまのお越しをお待ちしています。 <http://nenrin.org/>

入館無料
工作室使用料一般100円、中学生以下50円(材料費別途)
団体貸切要予約

地域の活性化をめざす都市との交流促進

神戸・阪神地域と丹波地域の県民交流広場が、都市での農産物直販や丹波での農業体験、地域行事への参加などの機会を通じて、お互いの理解を深め、それぞれの地域の活性化を図ることを目的に、都市と農村の交流事業の取り組みが始まりました。

6月26日に「丹波訪問ツアー」が生まれ、川西市川西北・伊丹市鈴原・尼崎市園田北3地区から22名が、篠山市雲部・大山地区、丹波市上久下・久下・神楽地区を訪れ、各地区のおすすめのスポットや、貸し農園などを視察されました。丹波へ足を運んでもらうことで、良さを体感してもらい、双方の住民同士が交流を深めました。

今後も、お互いの地域行事への参加や農産物の直販などを通じてコミュニティ同士のつながりが強くなることを期待します。



▲篠山市:大山地区 西尾家
コミュニティキッチン「結良里」の
とふめし弁当

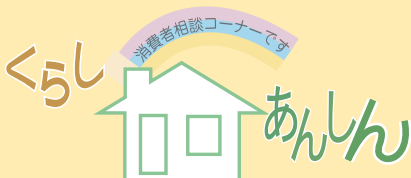


▲丹波市:上久下地区
恐竜化石発見現場



▲丹波市:神楽地区
高源寺

参加者からは、雲部の洞光寺や神楽の高源寺は、もみじの季節に再度訪れたい、「結良里」のとふめし弁当がとても美味しい、などの声が聞かれました。
地元の新鮮な野菜を購入される方も多く、たっぷり丹波地域の魅力を満喫されました。



「高齢者をねらう悪質商法。被害防止に地域の見守りを！」

相談事例

「訪問販売の女性にカツラを勧められ強引に買わされた。契約書は貰っていない。」

「高齢の母親が、訪問販売で金融商品をしつこく勧められ、何度断っても帰ってくれないため契約してしまった。書面は貰っていない。」

「一人ぐらしの高齢者が、訪問販売で温熱治療器を現金購入した。業者は名前も連絡先も告げず契約書も渡していないので、クーリング・オフできない。」

アドバイス

丹波地域ではこのような訪問販売に関する苦情が増えています。いずれも被害にあうのは、日中一人であることの多い高齢者です。

いずれの事例も、違法な勧誘・販売方法に該当し、当事者が申し出れば契約を解除・取り消しをすることが可能です。しかしながら、これらのケースでは、販売した業者を特定することが非常に困難です。相手が判らなければ解約通知ができません。このようなことにならないよう、契約には必ず書面を貰うようにしましょう。

高齢者の方は消費者被害にあっても、それを家族やまわりの

人に相談しない傾向があると言われています。高齢者のいるご家庭は、急に物が増えたりお金に困っている様子はないか？何か変化を感じたら、それとなく話を聞きだしましょう。

もし、不審な契約書や高額な商品が見つかったら、できるだけ早く消費生活センターへ相談してください。

高齢の消費者被害防止には、まわりの見守りが大切です。家族や地域を挙げて、高齢者を守りましょう。

出前講座実施中

自治会や老人会などの集会に出向いて、担当職員が悪質商法等の被害防止を呼びかける「出前講座」を行っています。費用はかかりませんので、ぜひ、ご相談ください。

丹波生活科学センター(丹波の森公苑内)
TEL(0795)72-0999 FAX(0795)72-0899

シューベルティアードたんば2010

人と自然と文化が調和した森の都「丹波」の創造 やすらぎの森に響く……こころ豊かに生活交響曲

丹波の森の音あそび



9月25日の
オープニングコンサートを口切りに、
各地で街角コンサートが開催されます。

各コンサートのお問い合わせ
チケットのご予約は

丹波の森国際音楽祭シューベルティアードたんば実行委員会事務局
〒669-3309 兵庫県丹波市柏原町柏原5600
(財)兵庫丹波の森協会 丹波の森公苑 文化振興部内

TEL (0795) 72-5170
FAX (0795) 72-0899

幼なじみの音あそび ファイナルコンサート

会場 丹波の森公苑 ホール 丹波市柏原町柏原5600

日時 11月13日(土) 14:00開演

料金 大人 3,000円 (当日3,500円)
中・高校生 1,000円 (当日1,500円)
*小学生無料(要整理券) *会員は1割引き/全席自由席

曲目 マルチェロ:「シャコンヌ」
アンナボン:「ソナタ」
メキシコ民謡: Beat JACK的「メキシカンマリimba」
米山正夫:「リンゴ追分」
池田安友子:「さんさんなびようし」
アンサンブル「たんばりん」による「ます愛奏曲」(河口結子編曲) 他



交流バス
「シューベルティアードたんば2010」を運行!

阪神間のJR・私鉄主要駅からバスを
運行します(11/13のみ)。午前中は丹
波地域の観光名所を巡り、午後はフ
ィナルコンサートをお楽しみください。

コース Aコース (JR大阪駅→石森寺→薬草公園) 料金 5,000円
Bコース (JR三宮駅→丹通寺→かどの郷) (中学生 3,000円)
Cコース (阪急西宮北口駅→高瀬寺→もみじの里) (小学生 2,500円)
(バス往復代・チケット代込)
*乗車される駅でコースが決まります。



秋の丹波もみじ三山と
コンサートがセットで楽しめる!

ホームページにも情報を掲載しています <http://www.schubertiadetamba.gr.jp/> ※都合により出演者や内容等を変更する場合がございます。

ファイナルコンサート

ファイナルコンサートに、スウェーデンよりリコー
ダー奏者のカタリーナ・ヴィデル氏とアーチリュ
ート奏者のパトリック・カールソン氏を招聘します。
ヴィデル氏はスウェーデンのソリスト賞コンテスト
で入賞し、母国の他にアメリカやイタリアなどで活
躍しているリコーダープレーヤーで、カールソンと
の革新的で多彩なアンサンブルは世界からも注目
されています。お二人の招聘を機に、この丹波の地
とスウェーデンとの友好を深めたいと思います。



カタリーナ・ヴィデル (リコーダー) パトリック・カールソン (アーチリュート)

街角コンサート

コンサート・街角名	会場	とき	開演 終演
柏原街角コンサート	柏原藩陣屋跡 丹波市柏原町柏原683	9月26日(日)	17:00 19:00
西紀街角コンサート	黒豆の館 篠山市下板井511-2	10月2日(土)	18:30 20:30
春日街角コンサート	道の駅「丹波おばあちゃんの里」 丹波市春日町七日市710	10月3日(日)	14:00 16:00
丹南街角コンサート	篠山市立城南小学校多目的ホール 篠山市小枕120	10月9日(土)	14:00 16:00
篠山街角コンサート	磯宮八幡神社(城東小隣り) 篠山市日置162	10月16日(土)	10:00 12:00
今田街角コンサート	兵庫陶芸美術館 篠山市今田町上立杭4	10月23日(土)	14:00 16:00
山南街角コンサート	谷川 正覚寺 丹波市山南町2212-2	10月24日(日)	14:00 16:00
青垣街角コンサート	丹波市立遠阪小学校体育館 丹波市青垣町山垣1167	10月30日(土)	14:00 16:00
市島街角コンサート	美和コミュニティセンター 丹波市市島町酒梨156番地2	11月6日(土)	18:30 20:30
氷上街角コンサート	かどの郷 丹波市氷上町上新庄445-4	11月7日(日)	14:00 16:00

メールマガジン「たんばもりびとにゅーす」購読(無料)募集中!!

(財)兵庫丹波の森協会は、丹波の森公苑やささやまの森公園、丹波年輪の里を拠点としてフェス
ティバルやコンサート、教養講座など様々な事業の実施や地域づくり活動の支援を行っています。
これらの最新情報を、毎月(毎月1日発行)ご希望の方に電子メールでお届けします。
もちろん購読は無料です。メールアドレスを登録すればご利用できます。(携帯電話のメールアド
レスでは登録できません。)下記のEメールまで申込みください。

E-mail: moribito@tanba-mori.or.jp

2010 丹波の森フェスティバル

～もいびとになって たんばらしさを楽しもう～

とき 平成22年10月31日(日)
10:00～16:00

ところ 丹波の森公苑

緑豊かな自然の中で地域や世代を超えて多くの人々の参加による交流とふれあいの場となる多彩なイベントを盛り込んだ「丹波の森フェスティバル」にぜひお越しください。

実施内容

ふれあい交流イベント

- ・ふれあいステージ
- ・森のフリーマーケット
- ・屋台コーナー(焼きそば、うどん、フランクフルト、たこやき、綿菓子など)
- ・お茶席
- ・おもしろ実験、体験コーナー
- ・バザー
- ・里山ハイキング など



まるいの、ちーたん、はばたん



同時開催

「わくわく親ひろば」体験まつり&地域交流フェスタ

- ☆ 「わくわく親ひろば」デモンstrーション
 - ・実践事例発表会、交流会
 - ・昔の遊び、手作りおもちゃ
- ☆ 県民交流広場同士の交流
 - ・活動内容紹介コーナー
 - ・関係者が集うフォーラム
 - ・農産物の直販 など



同時開催

丹波の森演劇祭

10月30日(土)、31日(日) ホール
地元で活動する
「劇研椎の実」「劇団水彩パルチザン」
「劇団シープ」「演劇塾くろまめ」
と、京都府綾部市の「花形文化劇場」を
迎えた計5団体の公演

フリーマーケット 締切 10月15日(金)必着
出店者大募集!! 出店料 1,000円
区画 3m×3m(60区画)
・動物、生もの、飲食物の販売はできません。

募集要領・応募票等は、
丹波の森公苑窓口、ホームページ
<http://www.tanba-mori.or.jp/>
で入手できます。



(財)兵庫丹波の森協会
丹波の森公苑

〒669-3309
丹波市柏原町柏原5600
Tel.0795-72-2127
Fax.0795-72-0899
<http://www.tanba-mori.or.jp>
E-mail: morikoen@hk.sun-ip.or.jp

印刷 株式会社プリテック

森のクイズ

昆虫は生育過程でいちじるしく変態します。完全変態・不完全変態・無変態(成虫に翅がない)があります。下記昆虫写真のなかで完全変態はどれでしょう。(答えは2つ書いてください)



①トンボ



②ハチ



③オオムラサキ

正解者には、抽選の上協会から記念品をプレゼントします。クイズの答えと住所、氏名ご意見などを書いてはがきで事務局までお送りください。(×切10月30日)